

総会・懇親会

令和6年度・第82回 東京秋工会総会・懇親会

令和6年度金砂健児の集い(総会・懇親会)が11月2日(土)12時よりアルカディア市ヶ谷にて開催された。来賓12名、会員49名、特別出演2名が参加した。

総会では全員による校歌斉唱に続いて、ご逝去の連絡のあった会員に向けて一分間の黙禱が捧げられた。



会長挨拶・東京秋工会会長 遠藤 久志 (S43E)

今年は母校の創立120周年を迎え、10月11日に秋田市で記念式典と祝賀会が行われ、素晴らしいイベントに参加でき、秋田工業に入学したことを心から良かったと思えました。東京秋工会からは詩吟、民謡同好会の21名が参加し、披露を行いました。

また、今年6月には四年ぶりに群馬、栃木、茨木、千葉、埼玉、神奈川、東京多摩、東京23区の8地区で懇親会が行われ、合計で約78名が参加しました。これからも毎年この会を継続する予定です。

今年は大坂花園で全国ラグビー大会があり、応援に行く予定です。会員および役員の高齢化が進んでおり、運営には困難が伴いますが、持続的な発展に向けて努力を続けますので、さらなるご支援をお願い致します。

来賓挨拶

・秋田工業高校 佐藤 貴文 校長先生

この4月に本校に着任いたしました。平成21年から令和元年まで11年間本校で勤務しておりました。

先日、秋田ミルハスで行われた創立120周年記念式典に遠藤会長を始めとする参加者の皆さんに感謝しております。

今年陸上部が残念ながら全国高校駅伝出場を逃しましたが、ラグビー部は5年連続で花園に出場することが決定し、バスケットボール部もウィンターカップ県大会で優勝し、全国大会への出場が決まりました。進路については、県内外合わせて115名の生徒の就職が決定しています。その県外54名のうちの24名が首都圏に就職することになりますので、よろしく願いいたします。

今年、120周年を迎え、「新たな歴史を120%の全力で」をスローガンに掲げ、これからも生徒、教職員と共に頑張っ参りますので、ご支援と声援を引き続き賜りたくお願い申し上げます。

・富樫 博之 衆議院議員 (S50M)

代理 政策担当秘書 山田 修市 様

まず皆様方に御礼を申し上げたいと思います。皆様方の応援をいただきまして、当選することができました。こちらにいる同窓会長の工藤先生はじめ、いろんな方々のお力をお借りしながら、また今、自民党が送られている批判に真摯に向き合い日々これから頑張っていく所存でございます。富樫に替わりまして一言御礼のご挨拶とさせていただきます。

・秋田工業高校同窓会 工藤 嘉範 会長 (S55M)

まずは、秋田工業高校の創立120周年を祝って、多くの東京秋工会の会員が参加してくれたことに感謝します。式典は詩吟の披露や余興で非常に盛り上がりました。我々県議も秋田高校の150周年など、様々な学校の記念式典に招待されることが多く、秋田工業のこの盛り上がりは特に印象深いものがありました。昨年の秋田高校の150周年も盛大でしたが、秋田工業の120周年も負けず劣らず素晴らしいイベントになりました。

同窓会の活動も超高齢化や少子化などの課題に直面しながらも、東京秋工会を中心に地域での活動が盛んに行われていることはありがたいことです。

・秋田工業高校ラグビー部後援会

加賀屋 陽二 会長 (S41S)

第104回全国高等学校ラグビー大会秋田県予選では準決勝で中央高校と対戦し、前半は苦戦しましたが、後半にフォワードが力を発揮し、最終的には29対12で勝利しました。金足農業高校との決勝戦では34対0で勝ち、72回目の全国大会出場権を獲得しました。秋田の現状は厳しく、少子化の影響でラグビー部の部員数も減少しています。かつては60名近くが入部していた時代もありましたが、最近では入部する生徒は14名程度で、一人でも欠けると大きな影響があります。来年の創部100周年に向けて、今年の全国大会で良い成績を目指しております。

来賓記念写真



前列左から
秋田ふるさと応援団 三平俊悦理事長、秋工本部同窓会 工藤嘉範会長、
秋工 佐藤貴文校長、ラグビー後援会 加賀屋陽二会長、
秋田県東京事務所 坂本雅和所長、秋田市東京事務所 高橋英和所長
後列左から
東京秋工会 遠藤久志会長、講演者 船木政秋氏、
ラグビー後援会 藤田和己副会長、秋田ふるさと応援団 武藤三郎事務局長、
東京雄水会 川口輝司会長、あげまき会東京支部 藤原宏子支部長、
富樫博之衆議院議員政策秘書 山田修市氏

講演

「秋田国家石油備蓄基地世界最大地中式原油タンク 建設工事(土木)を担当して」

講師：建設コンサルタント男鹿代表 船木 政秋 氏
(昭和44年工業化学科卒・男鹿市)



秋田国家石油備蓄基地は秋田県男鹿市船川に1982年1月に立地が決定し、同年3月建設の推進母体となる国家石油備蓄会社が設立され、1995年6月に12基が完成した。船木氏は世界最大地中式原油タンク12基建設工事の現地土木工事を担当した。平成7年度の日本土木学会技術賞受賞。同基地は地中タンク方式が採用され、この方式の特徴として①狭い敷地に大量の貯油が可能であり、面積効率が高いこと②油面が地表面下にあるため漏油拡散の危険性が非常に小さいこと③耐震性に優れていること、等があげられる。

懇親会

総会に続き懇親会が開催され同級生・同窓生・同郷の先輩/後輩との歓談となった。全員で応援歌「秋工健児」「ラグビーの歌」他を秋工時代を思いだしながら熱唱した。



佐藤 鉄三郎(S41A) 副会長の中締めでお開きとなった。

報告 赤川 均 (昭和41年電気科卒)

スナップ写真



初参加者：左から 小林龍二(H23機)、伊藤陽一(H07機)、伊藤順二(S44化)、渡邊徳也(S38産)、鎌田孝(S43機)



余興 民謡同好会
詩吟同好会の面々も加わっての民謡大合唱



前列左から：相馬洋悦(S40建)、角田昭夫(S40化)、齋藤忠男(S39化)、嘉藤武夫(S40化)
後列左から：柳原藤忠(S39化)、齋藤三男(S40化)



BOADWALK(兄弟デュオシンガー)
兄 細谷純平(秋田高専卒/右)、弟 細谷大純(秋工卒/中)
左：船木一美(S40機)